

2020年産米の収穫予想(7月31日現在)

【作柄(水稻)】◆全国作況98の「やや不良」

本社では、各都道府県別の7月末までの気象データを、作況推計プログラムに投入して作況を予想しました(8月1日以降、収穫期まで天候が平年並みに推移した場合の予測値です。天候経過によっては上振れ・下振れの余地があり、確定的なものではありません)。

2020年産(令和2年産)の水稻作柄は、7月の低温・大雨・日照不足傾向の影響が見込まれ、全国の作況指数は98の「やや不良」が予想されます。地帯別の作況指数は、北海道が98の「やや不良」、東北・北陸が99の「平年並み」、関東・東海・近畿・中国・四国及び九州が95～98の「やや不良」、沖縄が102の「やや良」が見込まれます。都道府県別で99～101の「平年並み」は、青森・秋田・山形・新潟・富山・石川・島根の7県、沖縄を除くその他39道府県は95～98の「やや不良」が見込まれます。なお、8月以降は高温傾向で推移しており、登熟が順調に推移すれば上振れする可能性がある一方で、▽高温の程度▽台風の動向▽病虫害等の影響—に留意する必要があると見ています。

【作付面積】◆水稻推計137万2千ha(主食用米等)

生産調整の取り組み状況や、各県等への聞き取りを踏まえ、本社としては主食用米等の水稻作付面積を137万2千ha、前年産実績比7千ha減と推計しました。農水省が策定する基本指針の生産量見通し(作付換算132.5～134万ha)に対して、過剰作付が見込まれます。なお、政府備蓄米、加工用米、新規需要米など生産調整の対象分は収穫予想から除外しています。また、非主食用米への取組申請手続きが8月末まで延長されていることから、変動の余地があります。

【水稻収穫量】◆主食用米等717万トン

作付・作況予測に基づき、7月31日現在における本年産水稻主食用米等の予想収穫量は、全国平均で10a当たり523kg、収穫量は717万トン、前年産実績比9万1千トン減と見通しました。

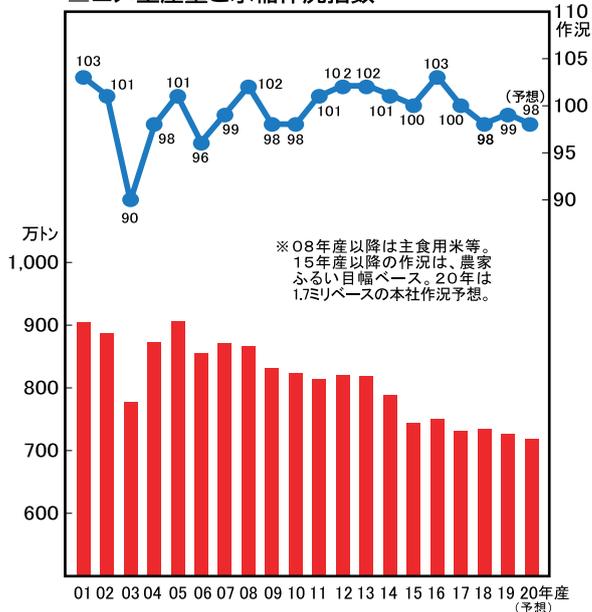
令和2年/3年(令和2年7月から3年6月)における主食用米等の供給量は、令和2年6月末の在庫201万4千トン(農水省・速報値)と、上記の予想収穫量を加えて918万4千トンと見込まれます。基本指針で7月に策定された需要見通し714万6千トンを差し引くと、令和3年6月末の在庫は203万8千トンと見込まれます。新型コロナ禍で需要量は下振れする可能性が高いなか、全体需給は過剰傾向が想定されます。

[表1] 全国の収穫予測(主食用米等)

			2020年産	前年差	前年比
合計	作付面積	ha	1,373,000	▲ 7,000	99.5%
	収穫予想	t	7,172,000	▲ 91,000	98.8%
水稻	作付面積	ha	1,372,000	▲ 7,000	99.5%
	10a収量	kg	523	▲ 5	99.1%
	収穫予想	t	7,170,000	▲ 91,000	98.7%
	作況指数		98	-	-
陸稲	作付面積	ha	660	▲ 42	94.0%
	10a収量	kg	236	8	103.5%
	収穫予想	t	1,600	0	100.0%

(注)加工用米、新規需要米は除く。陸稲の作柄は平年並みとして試算。ラウンドのため計が合わない場合がある。作況指数の前年差・比は、農水省公表の農家等ふるい目幅の基準が異なるため、表記せず。

■ コメ生産量と水稻作況指数

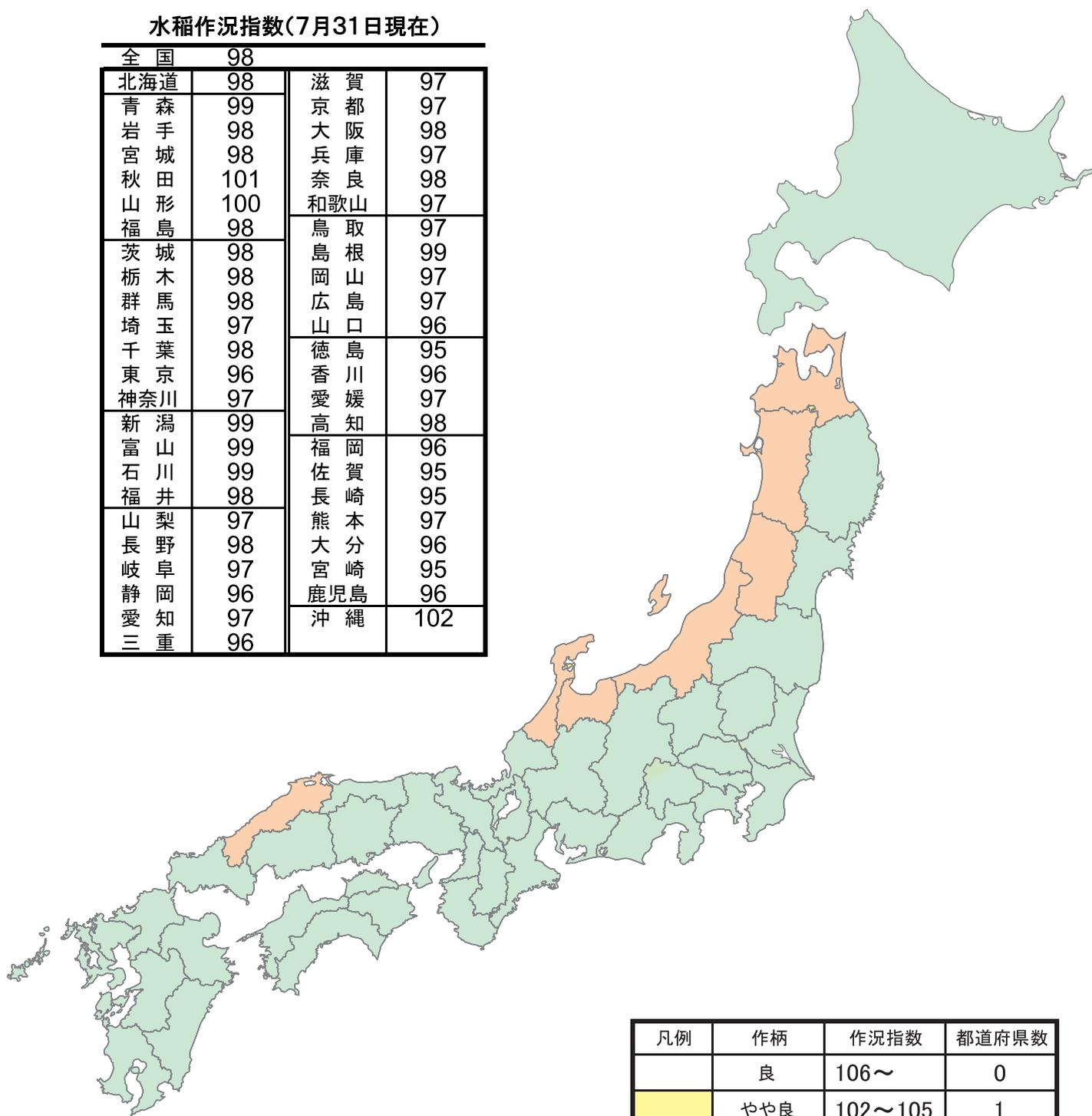


2020年産水稲の都道府県別作柄

米穀データバンク予測

水稲作況指数(7月31日現在)

全 国	98		
北海道	98	滋 賀	97
青 森	99	京 都	97
岩 手	98	大 阪	98
宮 城	98	兵 庫	97
秋 田	101	奈 良	98
山 形	100	和 歌 山	97
福 島	98	鳥 取	97
茨 城	98	島 根	99
栃 木	98	岡 山	97
群 馬	98	広 島	97
埼 玉	97	山 口	96
千 葉	98	徳 島	95
東 京	96	香 川	96
神 奈 川	97	愛 媛	97
新 潟	99	高 知	98
富 山	99	福 岡	96
石 川	99	佐 賀	95
福 井	98	長 崎	95
山 梨	97	熊 本	97
長 野	98	大 分	96
岐 阜	97	宮 崎	95
静 岡	96	鹿 児 島	96
愛 知	97	沖 縄	102
三 重	96		



凡例	作柄	作況指数	都道府県数
	良	106～	0
	やや良	102～105	1
	平年並み	99～101	7
	やや不良	95～98	39
	不良	～94	0

[表2]2020年産水稻(主食用等)の収穫予想(7月31日現在)

(単位:面積ha、10a収量kg、収穫量t)

	作付面積	10a予想収量	作況指数	予想収穫量	前年差
全国	1,372,000	523	98	7,170,000	▲ 91,000
北海道	96,000	539	98	517,400	▲ 36,500
青森	39,000	591	99	230,500	▲ 15,300
岩手	48,100	528	98	254,100	▲ 13,500
宮城	64,800	529	98	342,900	▲ 14,100
秋田	75,400	581	101	437,900	▲ 11,500
山形	56,700	596	100	337,900	▲ 18,900
福島	60,000	539	98	323,400	▲ 14,800
茨城	66,300	514	98	340,500	5,800
栃木	54,700	529	98	289,500	700
群馬	13,500	488	98	65,900	▲ 200
埼玉	30,900	477	97	147,500	▲ 1,400
千葉	53,700	533	98	286,300	9,200
東京	123	397	96	490	▲ 29
神奈川	3,020	479	97	14,500	200
新潟	106,600	539	99	574,100	▲ 4,800
富山	33,300	539	99	179,300	▲ 4,800
石川	22,600	518	99	117,000	▲ 3,800
福井	23,400	509	98	119,000	▲ 3,700
山梨	4,800	531	97	25,500	▲ 500
長野	30,900	607	98	187,400	▲ 4,200
岐阜	21,400	471	97	100,900	▲ 2,200
静岡	15,500	499	96	77,400	▲ 3,300
愛知	26,600	492	97	130,800	▲ 1,900
三重	26,900	480	96	129,100	800
滋賀	29,900	502	97	150,200	▲ 3,500
京都	13,700	496	97	67,900	▲ 1,800
大阪	4,720	485	98	22,900	▲ 1,400
兵庫	35,300	487	97	171,900	▲ 3,500
奈良	8,370	503	98	42,100	▲ 1,400
和歌山	6,300	482	97	30,400	▲ 1,000
鳥取	12,600	499	97	62,800	▲ 2,000
島根	16,800	506	99	85,000	▲ 500
岡山	29,200	510	97	149,000	▲ 2,500
広島	21,700	512	97	111,100	300
山口	18,300	484	96	88,500	1,300
徳島	10,800	450	95	48,600	▲ 2,400
香川	11,900	476	96	56,700	200
愛媛	13,400	483	97	64,700	1,200
高知	11,200	447	98	50,100	2,600
福岡	34,300	476	96	163,300	6,700
佐賀	23,500	493	95	115,900	45,300
長崎	11,100	458	95	50,800	▲ 600
熊本	31,800	498	97	158,200	2,200
大分	20,100	479	96	96,300	7,600
宮崎	14,400	471	95	67,900	0
鹿児島	18,100	465	96	84,100	1,000
沖縄	630	315	102	1,990	30

[注]面積は本社推定。備蓄米、加工用米、新規需要米等は含まず。10a予想収量は、ふるい目幅1.7mm基準で、作況指数は農水省が採用する農家使用のふるい目幅ベースと異なる。

(参考)

米穀データバンクの作況予測[1.7mm基準]の推移

年産	本社予測7/31	農水省・初回	農水省・最終
H5	93	(8/15) 95	74
6	108	(8/15) 105	109
7	100	(8/15) 100	102
8	100	(8/15) 101	105
9	103	(8/15) 102	102
10	97	(8/15) 99	98
11	103	(8/15) 103	101
12	103	(9/1) 103	104
13	102	(9/15) 103	103
14	102	(9/15) 101	101
15	94	(9/15) 92	90
16	103	(9/10) 101	98
17	100	(9/15) 102	101
18	96	(9/15) 97	96
19	99	(9/15) 99	99
20	102	(9/15) 102	102
21	96	(9/15) 98	98
22	102	(9/15) 99	98
23	101	(9/15) 101	101
24	102	(9/15) 102	102
25	100	(9/15) 102	102
26	102	(9/15) 101	101
27	100	(9/15) 100	100 [100]
28	100	(9/15) 103	103 [102]
29	102	(9/15) 100	100 [100]
30	102	(9/15) 100	98 [99]
R元	100	(9/15) 101	99 [99]

[注]本社予測は、5年産は早場13道県で8月10日現在。6年産以降は全国を対象としています。一方、農水省は平成12年産以降、全国の作柄概況は8/15は文字情報に変更し、9/15現在からの公表になっています。12年産は作期が早まり特例措置として9/1現在の数字が公表されたほか、16年産は9/10現在に変更されています。なお、農水省は平成27年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況公表に変更しています。[]内は、従来の1.7ミリ基準で計算した場合の作況指数です。本社は1.7ミリ基準で予想しています。